

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習3A											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	加賀 武見			実務経験	有	職種	デザイナー				
授業概要											
この科目を受講する学生は、プロダクト製品の提案をします。出題される課題の制約の中で、素材の特性を活かし、ユーザーと使用スペースを設定して、アイデアスケッチから、コンセプトの立案、図面作成、提案モデルの作成、プレゼンテーションを展開します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ知識、知識を学び、ユーザービリティを満たした提案を行います。デザインをする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
実践的なプロダクトデザインとして、必要となる知識を理解し、素材や加工技術の特性の考慮して、提案の中に展開します。用と美を備えたデザインを考案し、提案モデルを使いプレゼンテーションをします。講師と検証し、改善を繰り返し、デザインの現場で活躍するために必要なデザイン思考を向上させること、提案モデルとプレゼンテーションボードで発表できるようになることを目標にしている。											
授業方法											
出題される課題のテーマに沿って、講師からの解説を受けます。製品の特性、使い方から、ユーザーの要求項目、使用シーンに沿った適正なデザインを提案する実習授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「製品デザインの提案力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン提案」を自分自身で実践し、プレゼンテーションできるようになることを目指す。											
成績評価方法											
プレゼン課題完成度	20%	製作物の発表方法、内容									
リサーチ	40%	クオリティ・提出期限厳守									
平常点	20%	製作準備と過程									
	20%	積極的姿勢・周囲のサポート									
履修上の注意											
学生に実際にプロダクトデザインの提案をしてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた前段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	前提講義 / フェルトグッズの事例 誰への設定 ユーザーの要求事項の整理										
第2回	フェルトグッズ① / リサーチ コンセプトワーク										
第3回	フェルトグッズ② / アイデアスケッチ 検証ラフ作成										
第4回	フェルトグッズ③ / スチレンボード検証モデル製作										
第5回	フェルトグッズ④ / フェルトグッズ製作										
第6回	フェルトグッズ⑤ / フェルトグッズ製作										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 3A	
第7回	前提講義 / 改善点1講評会 まとめ
第8回	パーテーション① / パーテーションの事例 ユーザー設定 要求事項の整理
第9回	パーテーション② / アイデアスケッチ 検証ラフ作成
第10回	パーテーション③ / 三面図の作成
第11回	パーテーション④ / スチレンボード検証モデル製作
第12回	パーテーション⑤ / モックアップ製作
第13回	パーテーション⑥ / モデルの撮影
第14回	パーテーション⑦ / プレゼンボード制作 パーテーション
第15回	プレゼンテーション / 講評会 全体のまとめ